

# 本所消防防災マガジン

～高めよう 確かな知識と みんなの意識～



令和2年11月号 vol. 210号

令和2年度秋の火災予防運動 推進標語

もう一度 確認 安心 火の用心

作者 菅野 珠加さん（江戸川区在住）

火災予防実施期間：11月9日（月）～11月15日（日）

## 電気ストーブ火災を防ごう

### 《電気ストーブ火災の実態》

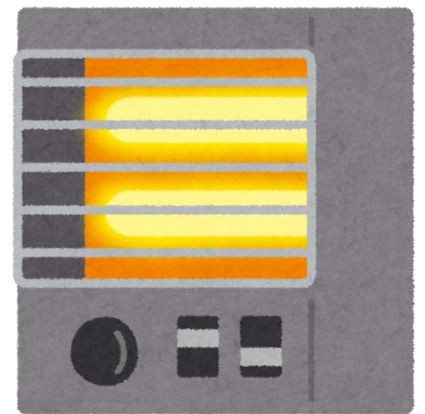
令和元年の東京消防庁管内の火災件数は4,085件です。このうち電気製品などから出火した火災は1,283件で、そのうち最も多いのは、電気ストーブ火災の85件です。また、電気ストーブ火災のうち亡くなった方は6人、けがをされた方は39人と、人命にかかわる被害が大きい特徴があります。なお、墨田区内の火災件数は81件、電気製品などから出火した火災は23件であり、火災原因の28%を占めています。

これからの季節、電気ストーブを使用する機会が増えると思います。電気ストーブの見た目は、直火（炎）がなく火災になりにくいと思われがちですが、ストーブによる火災のうち、電気ストーブ火災の件数が圧倒的に多いという実態があります。

### 《電気ストーブ火災の特徴》

電気ストーブ火災の発生原因として、電気ストーブをつけたまま就寝し布団などに接触して火災が発生する事例や、電気ストーブ上にあつた衣類などが落下し火災が発生する事例が多いという特徴があります。

使用に際しては、燃えやすいものは近くに置かない、洗濯物は近くに干さないなど、十分な注意が必要です。

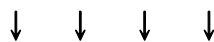


(YouTube 東京消防庁公式チャンネル)

電気ストーブ火災の特徴や注意点については、「YouTube（東京消防庁公式チャンネル）」でもご覧いただけます。ぜひ、ご確認ください。



電気ストーブ火災の動画はこちらからご覧になれます。



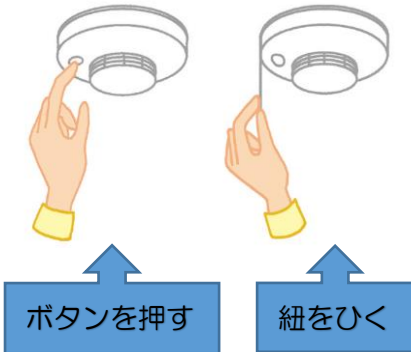
# 火災に備えてもう一度

## 住宅用火災警報器を確認しよう！

～火災の早期発見に大変有効です～

### 1 適切な維持管理・点検について

- (1) 住宅用火災警報器は適切に作動するか定期的に確認しましょう。作動確認は、本体の点検ボタンを押すか、ひも付きのものはひもを引くことで行うことができます。音が鳴らない場合は、電池切れか機器の故障が考えられます。この機会に住宅用火災警報器の確認をしてみましょう。



#### ●正常な場合

「ピーピーピー」、「ピーピーピー、火事です」、「正常です」

#### ●電池切れの場合

「ピッ・・・、ピッ・・・」

#### ●故障の場合

「ピッピッピッ・・・、ピッピッピッ・・・」

※機種により点検方法や点検音が異なります。詳しくは取扱説明書をご確認ください。

- (2) 住宅用火災警報器にホコリなどの汚れがつくと、火災を感知しなくなるおそれがあります。汚れは乾いた布でふき取りましょう。台所に設置してある住宅用火災警報器で油污れがひどいものは、せっけん水に浸した布を十分絞ってからふき取りましょう。

### 2 交換時期について

住宅用火災警報器の耐用年数は概ね 10 年といわれています。平成 22 年の既存住宅への設置義務化からも 10 年が経過していることから、いざという時に鳴らない住宅用火災警報器が多く存在していることが予想されます。

10 年を過ぎているものは、電子部品の寿命等による故障や電池切れにより火災を感知できなくなる可能性が高まるため、ご自宅の住宅用火災警報器の設置年月を確認して、機器本体の交換をしましょう。

#### ★住宅用火災警報器を確認するときのポイント★

- 全ての居室、台所、階段に設置しましょう。
- 定期的に作動状態の確認、機器本体の清掃をしましょう。
- 設置から 10 年を経過したものは本体の交換をしましょう。



#### 本所消防署災害状況

(令和2年10月31日現在)

火災 40件 焼損床面積 111㎡

救助 251件 救急 7461件

#### お問い合わせは

〔 警防課防災安全係 地域防災担当 〕

〔 電話 3622-0119 (内線323) 〕

詳しくはホームページへ

〔 東京消防庁 HP [www.tfd.metro.tokyo.jp](http://www.tfd.metro.tokyo.jp) 〕

〔 署 HP [www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-honjyo/index.html](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-honjyo/index.html) 〕